

貸 借 対 照 表

(2022年3月31日現在)

(単位：百万円)

勘 定 科 目	金 額	勘 定 科 目	金 額
(資 産 の 部)		(負 債 の 部)	
流 動 資 産	15,181	流 動 負 債	15,125
現金及び預金	130	営業未払金	7,481
受取手形	231	電子記録債務	432
電子記録債権	365	短期借入金	1,604
営業未収入金	11,487	設備関係未払金	287
商 品	92	未 払 金	2,855
貯 蔵 品	184	未払住民税及び事業税	154
前 払 費 用	73	未 払 消 費 税 等	472
未 収 入 金	2,440	未 払 費 用	619
短期貸付金	58	契 約 負 債	47
そ の 他	122	賞 与 引 当 金	1,112
		そ の 他	60
固 定 資 産	16,383	固 定 負 債	5,776
(有形固定資産)	12,484	長期借入金	3,500
建 築 物	4,325	退職給付引当金	1,847
構 築 物	816	役員退職慰労引当金	65
機 械 装 置	916	資 産 除 去 債 務	220
船 舶	58	そ の 他	143
車 両 運 搬 具	76	(負債合計)	(20,901)
工 具 器 具 備 品	700		
土 地	5,345	(純資産の部)	
リ ー ス 資 産	146	株 主 資 本	10,615
建 設 仮 勘 定	101	資 本 金	1,500
(無形固定資産)	1,184	資 本 剰 余 金	200
設 備 利 用 権	2	資 本 準 備 金	100
特 許 権	1	そ の 他 資 本 剰 余 金	100
借 地 権	0	利 益 剰 余 金	8,915
商 標 権	2	利 益 準 備 金	315
ソ フ ト ウ ェ ア	1,100	そ の 他 利 益 剰 余 金	8,600
ソ フ ト ウ ェ ア 仮 勘 定	80	別 途 積 立 金	5,206
		繰 越 利 益 剰 余 金	3,394
(投資その他の資産)	2,715		
投 資 有 価 証 券	108	評 価 ・ 換 算 差 額 等	48
関 係 会 社 株 式	1,124		
長 期 貸 付 金	175	そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	48
前 払 年 金 費 用	163		
繰 延 税 金 資 産	860	(純資産合計)	(10,664)
そ の 他	285		
貸 倒 引 当 金	△1		
資 産 合 計	31,564	負 債 及 び 純 資 産 合 計	31,564

損 益 計 算 書

〔 自 2021年4月 1日
至 2022年3月 31日 〕

(単位：百万円)

項 目	金	額
営 業 収 入		88,347
営 業 原 価		83,409
営 業 総 利 益		4,938
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		3,718
営 業 利 益		1,219
営 業 外 収 益		
受 取 利 息	4	
為 替 差 益	7	
受 取 配 当 金	217	
そ の 他	61	289
営 業 外 費 用		
支 払 利 息	28	
固 定 資 産 撤 去 損	100	
そ の 他	31	159
経 常 利 益		1,350
特 別 利 益		
投 資 有 価 証 券 売 却 益	299	299
税 引 前 当 期 純 利 益		1,648
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	446	
法 人 税 等 調 整 額	24	470
当 期 純 利 益		1,178

個別注記表

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 資産の評価基準及び評価方法

①有価証券の評価基準及び評価方法

(a) 子会社株式及び関連会社株式

移動平均法による原価法

(b) その他有価証券

市場価格のない株式等以外のもの

決算日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定）

市場価格のない株式等

移動平均法による原価法

②デリバティブの評価基準及び評価方法

時価法

③棚卸資産の評価基準及び評価方法

貯蔵品・・・最終仕入原価法による原価法

（貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定）

ただし燃料油については月次総平均法による原価法

（貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定）

商 品・・・月次総平均法による原価法

（貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定）

(2) 固定資産の減価償却の方法

①有形固定資産（リース資産を除く）

定額法を採用しております。

②無形固定資産（リース資産を除く）

定額法を採用しております。

なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間に基づく定額法を採用しております。商標権については10年間で均等償却しております。

③リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産は、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

(3) 外貨建の資産及び負債の本邦通貨への換算基準

外貨建金銭債権債務は、決算日の直物為替相場により円貨に換算し、為替差額は損益として処理しております。

(4) 引当金の計上基準

①貸倒引当金・・・・・・・・債権の貸倒による損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

- ②賞与引当金・・・・・・・・・・従業員賞与の支給に備えるため、賞与支給見込額及び当該支給見込額に対応する社会保険料会社負担見込額のうち、当期に負担すべき費用の見積額を計上しております。
- ③退職給付引当金・・・・・・・・・・従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき計上しております。
また、数理計算上の差異については、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（3年）による定額法により発生
の翌事業年度から費用処理することとしております。
- ④役員退職慰労引当金・・・・役員及び執行役員の退職慰労金の支給に備えるため、内規に基づく期末要支給額を計上しております。

（5）収益の計上基準

当社は、「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号2020年3月31日）及び「収益認識に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第30号2021年3月26日）を適用しており、約束した財またはサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財またはサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識しております。

（6）重要なヘッジ会計の方法

ヘッジ会計の方法・・・・・・・・・・繰延ヘッジ処理を採用しております。

なお、為替予約について振当処理の要件を満たしている場合は振当処理を採用しております。

ヘッジ手段とヘッジ対象・・・・ヘッジ手段・・・為替予約

ヘッジ対象・・・・外貨建営業債務

ヘッジ方針・・・・・・・・・・・・デリバティブ取引の限度額を実需の範囲とする方針であり、投機目的によるデリバティブ取引は行わないこととしております。

ヘッジの有効性評価・・・・・・・・・・デリバティブ取引の実行に当り、ヘッジ手段とヘッジ対象に関する重要な条件がほぼ一致しており、ヘッジ開始時及びその後も継続して相場変動等を相殺することができることを確認しております。なお、振当処理によっている為替予約については、有効性の評価を省略しております。

（7）その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

- ①金額表示・・・・・・・・・・・・百万円で表示しておりますが、百万円未満の端数は四捨五入しております。
- ②連結納税制度の適用・・・・当社は(株)三菱ケミカルホールディングスを連結納税親法人とする連結納税制度を適用しております。

2. 会計方針の変更に関する注記

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第 29 号 2020 年 3 月 31 日。以下「収益認識会計基準」という。)及び「収益認識に関する会計基準の適用指針(企業会計基準適用指針第 30 号 2021 年 3 月 26 日)を当事業年度の期首から収益認識会計基準等を適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

この変更が当事業年度の計算書類に与える影響は軽微であります。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第 30 号 2019 年 7 月 4 日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当事業年度の期首から適用し、時価算定会計基準第 19 項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第 10 号 2019 年 7 月 4 日)第 44-2 項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。これによる、当事業年度に係る計算書類への影響はありません。

3. 貸借対照表に関する注記

- (1) 有形固定資産の減価償却累計額 23,332 百万円
なお、減価償却累計額には、減損損失累計額 1 百万円が含まれております。
- (2) 偶発債務に係る事項
保証債務の残高
下記会社の金融機関からの借入債務等に対し、保証を行っております。
PT. Lintas Buana Kasei 26 百万円 (3,000 百万 IDR)
PT. Dia Logistics Indonesia 29 百万円 (3,337 百万 IDR)
Siam Chemical Logistics Co., Ltd. 9 百万円 (2,360 千 THB)
- (3) 関係会社に対する金銭債権及び金銭債務
短期金銭債権 6,218 百万円
短期金銭債務 1,167 百万円
長期金銭債権 175 百万円

4. 損益計算書に関する注記

- (1) 関係会社との取引高
① 営業取引による取引高
営業収入 43,637 百万円
営業原価 8,269 百万円
販売費及び一般管理費 186 百万円
計 52,092 百万円
② 営業取引以外の取引による取引高
投資有価証券売却 251 百万円
受取配当金 197 百万円
固定資産売却 2 百万円
土地賃貸料 17 百万円
受取利息 4 百万円
計 470 百万円

(2) 投資有価証券売却益

当社が保有していました三菱ケミカルシステム（株）や（株）ロジネットジャパンなどの株式を売却したものです。

5. 税効果会計に関する注記

(1) 税効果会計に関する事項

繰延税金資産の発生の主な原因は、退職給付引当金及び賞与引当金等であり、繰延税金負債の発生の原因は、その他有価証券評価差額金であります。

なお、ゴルフ会員権評価損等に係る繰延税金資産に対しては、評価性引当額を計上しております。

(2) 法人税及び地方法人税の会計処理又はこれらに関する税効果会計の会計処理

当社は、翌事業年度から、連結納税制度からグループ通算制度へ移行することとなります。また、法人税及び地方法人税に係る税効果会計に関する会計処理及び開示については、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」（実務対応報告第 42 号 2021 年 8 月 12 日）を当事業年度の期末から適用しております。

6. 関連当事者との取引に関する注記

(1) 親会社及び法人主要株主等

属性	会社等の名称	議決権等の所有 (被所有) 割合(%)	関連当事者との関係		取引の内容	取引金額 (百万円) (注3)	科目	期末残高 (百万円) (注3)
			役員 の 兼任	事業上 の 関係				
親会社	三菱ケミカル(株)	被所有 直接 100.0	3名	運送・保管及び作 業受託	運送・保管及 び作業受託 (注1)	43,586	営業未収 入金	4,061
					有価証券の 売却(注2)		電子記録 債権	2
					売却代金	251	未収入金	1,907
					売却益	232		

取引条件及び取引条件の決定方針等

(注1) 運送・保管及び作業受託については、市場動向、総原価等を勘案して毎期価格交渉の上一般的取引条件と同様に決定しております。

(注2) 有価証券の売却価格は、純資産評価額を勘案し、両者協議の上合理的に決定しており、支払い条件は一括現金払いであります。

(注3) 取引金額には消費税等を含めておりません。但し、期末残高には消費税等を含めております。

(2) 子会社及び関連会社等

属性	会社等の名称	議決権等の所有(被所有)割合(%)	関連当事者との関係		取引の内容	取引金額(百万円) (注2)	科目	期末残高(百万円) (注2)
			役員の兼任	事業上の関係				
子会社	菱化ロジテック(株)	所有直接 100.0	2名	運送及び作業委託	運送及び作業委託 (注1)	6,667	営業未払金	707

取引条件及び取引条件の決定方針等

(注1) 運送及び作業委託については、市場動向、総原価等を勘案して每期価格交渉の上一般的取引条件と同様に決定しております。

(注2) 取引金額には消費税等を含めておりません。但し、期末残高には消費税等を含めております。

(3) 兄弟会社等

属性	会社等の名称	議決権等の所有(被所有)割合(%)	関連当事者との関係		取引の内容	取引金額(百万円) (注3)	科目	期末残高(百万円) (注3)
			役員の兼任	事業上の関係				
親会社の子会社	(株)三菱ケミカルホールディングスコーポレートスタッフ	なし	なし	資金の借入	資金の借入 (注1)	1,604	長期借入金	3,500
					利息の支払 (注1)	27	短期借入金	1,604
親会社の子会社	日本ポリプロ(株)	なし	なし	運送・保管及び作業受託	運送・保管及び作業受託 (注2)	3,236	営業未収入金	818
親会社の子会社	日本ポリエチレン(株)	なし	なし	運送・保管及び作業受託	運送・保管及び作業受託 (注2)	3,175	営業未収入金	882

取引条件及び取引条件の決定方針等

(注1) 資金の借入及び運用については、(株)三菱ケミカルホールディングスコーポレートスタッフとの間で、基本契約を締結しグループ内での資金集中管理を目的としているものであり、取引金額は純額表示をしております。なお、利率については、市場金利を勘案し一般的取引条件と同様に決定しております。

(注2) 運送・保管及び作業受託については、市場動向、総原価等を勘案して每期価格交渉の上、一般的取引条件と同様に決定しております。

(注3) 取引金額には消費税等を含めておりません。期末残高のうち営業未収入金には消費税等を含めております。

7. 1株当たり情報に関する注記

(1) 1株当たり純資産額	710円90銭
(2) 1株当たり当期純利益	78円55銭

8. 資産除去債務に関する注記

当社は、不動産賃貸契約に基づき使用する土地において、土地の返却時における原状回復に係る債務を原則有しておりますが、当該債務に関連する一部の賃借資産については使用期間が明確でなく、将来土地を返却する予定もないことから、資産除去債務を合理的に見積もることができません。そのため、当該債務に見合う資産除去債務を計上しておりません。

三菱ケミカル物流株式会社
<http://www.mclc.co.jp/>